

## 資料 1 1

南極地域観測総合推進本部  
第151回総会 H29.11.7

## 第 5 9 次南極地域観測隊同行者候補者（案）

平成29年11月7日現在（含：年齢）

区分	氏名	年齢	所属	隊員歴等	現住所	備考
教育関係者	すだ ひろし 須田 宏	46	秋田県立大曲工業高等学校		秋田県秋田市	
	やまぐち なおこ 山口 直子	44	神奈川県川崎市立菅小学校		神奈川県川崎市	
技術者	まつもと けいたろう 松本 慧太郎	30	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	第58次夏隊同行者	神奈川県横浜市	海鷹丸
	とよた しんすけ 豊田 進介	40	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	第55・56・58次夏隊同行者	神奈川県横浜市	海鷹丸
	そね ともみ 曾根 知実	28	株式会社マリン・ワーク・ジャパン		神奈川県横浜市	海鷹丸
	さとう むつみ 佐藤 睦	52	Heliwest Group (オーストラリア)	第55・57・58次夏隊同行者	オーストラリア	
	Kody Petterson	23	Heliwest Group (オーストラリア)		オーストラリア	
技術者 (氷海航行試験)	たかはし ゆうと 高橋 祐人	23	東京大学大学院新領域創成科学研究科		神奈川県横浜市	
	ふしみ しゅういち 伏見 修一	23	東京大学大学院新領域創成科学研究科		千葉県柏市	
研究者	むらこし しん 村越 真	57	静岡大学大学院教育学領域		静岡県静岡市	
	ごとう しんぺい 後藤 慎平	34	東京海洋大学学術研究院		東京都江東区	
	いけだ ひろし 池田 博	64	筑波大学数理物質科学研究科	第44次越冬隊 第51次夏隊	茨城県つくば市	
大学院学生	やまね しおり 山根 志織	24	北海道大学大学院環境科学院		北海道札幌市	
	しまぶくろ うい 島袋 羽衣	24	総合研究大学院大学 複合科学研究科極域科学専攻		東京都練馬区	
	かわまた もと 川又 基人	25	総合研究大学院大学 複合科学研究科極域科学専攻	第57次夏隊同行者	東京都立川市	先遣
	はっとり あきひさ 服部 晃久	22	総合研究大学院大学 複合科学研究科極域科学専攻		東京都国立市	
	うちだ さとる 内田 悟	24	信州大学大学院総合理学研究科		長野県松本市	
	かいみ そう 海見 走	24	信州大学大学院総合理学研究科		長野県松本市	
	Rachel Claire Rudd	24	アデレード大学 (オーストラリア)		オーストラリア	
	すぎうら ゆうき 杉浦 裕紀	23	大阪教育大学大学院教育学研究科		大阪府柏原市	
	もり まお 森 真央	29	南極気候生態系共同研究センター (オーストラリア)		オーストラリア	海鷹丸
	Smith Abigail Jessica Rose	21	タスマニア大学 (オーストラリア)		オーストラリア	海鷹丸
外国人研究者	Dale T. Andersen	61	SETI研究所 (アメリカ)		アメリカ	
外国人研究者 (交換科学者)	Francesco Comola	30	スイス連邦工科大学 (スイス)		スイス	
報道関係者	なかがわさい ひろゆき 中川西 宏之	52	合同会社 S A I		沖縄県那覇市	
	いのうえ たいし 井上 大志	30	NHKエンタープライズ		東京都渋谷区	

※黄色が追加決定者

## 第59次南極地域観測隊同行者編成

### 1. 同行者枠について

#### 「しらせ」

- ・ 「しらせ」の乗船収容人数は80名。一方、第59次南極地域観測隊は73名により編成予定。(往路「しらせ」乗船予定は51名)
- ・ また、58次越冬隊員は33名。(59次越冬隊員は32名(うち往路「しらせ」乗船者:28名))  
よって、「しらせ」に乗船する隊員の最大数は56名。
- ・ 59次行動における「しらせ」への同行者乗船可能数は24名。  
(80名-56名=24名)

#### 「海鷹丸等」

- ・ 同行者は7名を予定。

よって、最大同行者数は31名(24名+7名)。

### 2. 同行者編成について

- ・ 同行者の編成は、以下を基本に調整を図る。

分 類	同 行 目 的	人 数	
		しらせ	海鷹丸等
報道関係者	第59次南極地域観測隊に同行し、昭和基地等において現地取材、報道を実施。	2	—
教育関係者	小中高等学校の教員を昭和基地に派遣し、衛星回線を通じて「南極授業」を実施。	2	—
技 術 者	観測用小型ヘリコプターの運行、観測・設営計画に関わる技術支援、「しらせ」の航行安全に必須な諸試験等の実施。	4	3
行政機関職員	南極地域の環境の保護に関する法律の遵守状況の確認及び環境影響に関する情報の収集。	—	—
外国人研究者、国内研究者、大学院学生 等		11	4
小 計		19	7
総 計		26	

注) 人数は、現時点での計画数であり、今後の調整を経た上で、南極地域観測統合推進本部総会(連絡会を含む。)において決定される。